鎌倉の温古堂
創業弘化四年
仏壇・仏具・御宮
神具・香・香炉
フーフでナムナム
☎〇四六七(22)七六七六

12月1日号
2025年(令和7年)
第561号
毎月1日発行
(一部税込み220円)
http://kamakura-asahi.com

鎌倉朝日

朝日新聞の姉妹紙
©発行所 鎌倉朝日新聞社☎ 0467-24-8553 FAX 23-1205
〒248-0007 鎌倉市大町2丁目8番13号2-202

お宮参り・七五三の会食は
鎌倉峰木
八幡宮前・小町通り・十二所神社前
本店 電話 0467-22-4431

令和の大改修 13年がかり

光明寺大殿 保存修理工事の見学会

鎌倉市材木座の浄土宗大本山光明寺の重要文化財本堂（大殿）の保存修理工事（半解体修理）の見学会が11月21・22の2日間行われ、約80人が参加した。

2019（令和元）年11月から10年の予定で工事が始まったが、白アリやコロナの影響で工期は2032年9月までの13年間に延長された。

本堂（大殿）は、1698（元禄11）年に建立された。桁行（間口）9間（24・89m）、梁間11間（25・02m）で、鎌倉で現存する仏堂のうちでも最大規模を誇る。内部は上段式の内陣と裏堂、二重構成になる広大な外陣など、特色ある構成で、内陣天井には龍の絵が描かれ、欄間には雲の中で楽器を奏でる天人などの意匠が彫られている。

光明寺本堂の敷梁

創建以来、約320年の間、その時々に修理が行われてきたが、前回の1971（昭和46）年の大修理から50年を経て、近年、屋根や柱などに痛みが出てきたので、保存・活用のための半解体修理工事を行うことになった。

今回の工事は、建物の各部材を屋根から順番に取り解いて骨組みだけにして、破損・腐朽した部分の補修・取替などを行って再び組み上げ、あわせて大地震に対する備えも施す。

工事にともなう調査により、建立当初の姿とその後の変遷が概ね明らかになった。発見された柿板や享保の絵図から、建立当初の屋根は柿（こけら）葺であったことがわかった。現在は瓦棒銅板葺で葺き替えの時期は不明だが、明治時代初期の古写真ではすでに銅板葺になっている。正面中央の唐破風は解体中に発見された墨書から、1770（明和7）年に付加されたこともわかった。

須弥壇・台形厨子内の壁紙の下から、雲に飛天の図も発見されている。

見学会では、はじめに文化財建造物保存技術協会の富沢晃さんのビデオを用いた解説を聞いた後、20人ずつ2班に分かれて、本殿と山門を見学した。

素屋根ですっぽりと覆われた本堂に入った見学者たちは、縦横に張り巡らされた大木の骨組みを目にして、その規模の大きさに驚いた。取り外された白アリなどの虫にくわれた小さな穴のあいた木材が並べられていて、40本ある柱のうち、10本を交換すること、栂（ツガ）材で関西ではよく使われるが、調達が大変なことなどの説明を受けた。

工事用に設置された階段を上がり、屋根に取り付けられる大きな青銅板の展示や宮大工の作業風景もながめた。

そのあと、山門楼上で、鎌倉歴史文化交流館学芸員の浪川幹夫さんから、禅宗建築の特徴、地震・津波のことや和賀江島の話などを興味深く聞いた。

見学を終えた市内梶原か訪れた3人グループの女性や、茅ケ崎から自転車できた男性は、「現場を見学できて滅茶苦茶よかった」「元の材料をなるべく活かして修理するのは大変だと思った」と話していた。

修理工事には、文化庁の保存・活用事業費補助とともに、神奈川県及び鎌倉市からの補助を得ている。

山門前で説明を受ける見学者たち

鎌倉木樹めぐり ⑳

鶴岡八幡宮の親子イチョウ

文 小林 千穂
写真 古川三紀雄

「隠れ大銀杏」の異名を持つ鶴岡八幡宮のご神木が強風にあおられて倒壊してから今年で15年。

元の場所から芽生えたひこばえが、高さ約10m、幹周90cmほどに大きく生長し、秋になって葉を黄金色に輝かせている。

そのそばには、元の大銀杏の幹を根元から3m4cmのところで切って移植した株が植えられていて、こちらも枝を拡げてみごとに貴葉し、それらは「親子イチョウ」と呼ばれて慈しまれている。

イチョウはイチョウ科イチョウ属の落葉大高木。公孫樹とも書き、中生代に栄えた、生きた化石ともいえる植物で、中国南部の原産とされる。

鶴岡ミュージアムカフェ棟に、倒壊した樹幹の中間部が展示されていて、樹齢千年の歴史の重みを感じさせる。

樹齢千年の大銀杏の幹

鎌倉の年中行事 12月

▼成道会 8日建長寺、円覚寺。お釈迦さまが悟りを開いた日。

▼御鎮座記念祭・御神楽 16日17時、鶴岡八幡宮

▼歳の市 18日10時頃～20時頃、長谷寺参道。だるまや熊手の縁起物、しめ飾りなどの露店が並ぶ。16時半～拝観無料。

▼大祓・古神礼焼納祭 31日11・13・15時、大祓。16時、古神礼焼納祭。鶴岡八幡宮。

▼除夜祭 31日17時、鶴岡八幡宮。

▼除夜の鐘のつける寺 大船観音寺、浄光明寺、青蓮寺、瑞泉寺、東慶寺、満福寺、妙本寺、薬王寺、建長寺、光明寺、浄智寺、長谷寺（事前申込で抽選）、龍宝寺など。

プロムナード

「発祥の地」や「元祖」と聞くと、何故か目を引かれてしまうのは私だけではないはず▼「鎌倉発祥」となると何をイメージされますか？▼「武家政権」「鎌倉彫」「鎌倉五山」など、多くの言葉が思い浮かぶのが嬉しく、誇らしい気持ちになります▼先日、「日本海藻学発祥の地」が鎌倉であるということを恥ずかしながら初めて耳にしました▼由比ケ浜で採取された海藻をもとに、明治の研究者たちが学問としての礎を築いたそうです▼海とともに歩んできた鎌倉らしい発祥に、またひとつ胸をくすぐられる思いをしました▼夏の海水浴に訪れる人々に「日本海藻学発祥の地」が鎌倉であるという事実を伝え歩きたい気分です。（N）

鎌倉石屋
梅花はんぺん
井上蒲鉾店
http://www.inouekamaboko.co.jp/

鎌倉の町並と
日本人の心に馴染む家づくり
KAMAKURA STANDARD
戸井田工務店
☎0467-24-7777
www.kamakura-standard.com